



2008年3月期 決算説明会

大平洋金属株式会社

2008年5月26日

ホームページURL : <http://www.pacific-metals.co.jp>

お問い合わせ先 : 総務部 (IR担当)

TEL : 03-3201-6681

目 次

I 08. 3期決算実績

◆08. 3期 決算実績	
1. 概要	3
2. ニッケル事業	4
3. 連結経常損益の分析(07. 3実績対08. 3実績)	5

II 今後のニッケル需給の見通しについて

◆今後のニッケル需給の見通しについて	
1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移	7
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給	8
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	9

III 中期経営計画

◆中期経営計画ローリングの背景	11
◆長期成長のシナリオ	12
◆中期経営計画	
1. 概要	13
2. PAMCO22との比較	14
3. ニッケル事業	15
4. 主な資金使途	16
4. 投資内容	17
5. 安定した鉱石調達への取組み	18

IV 09. 3期決算見通し

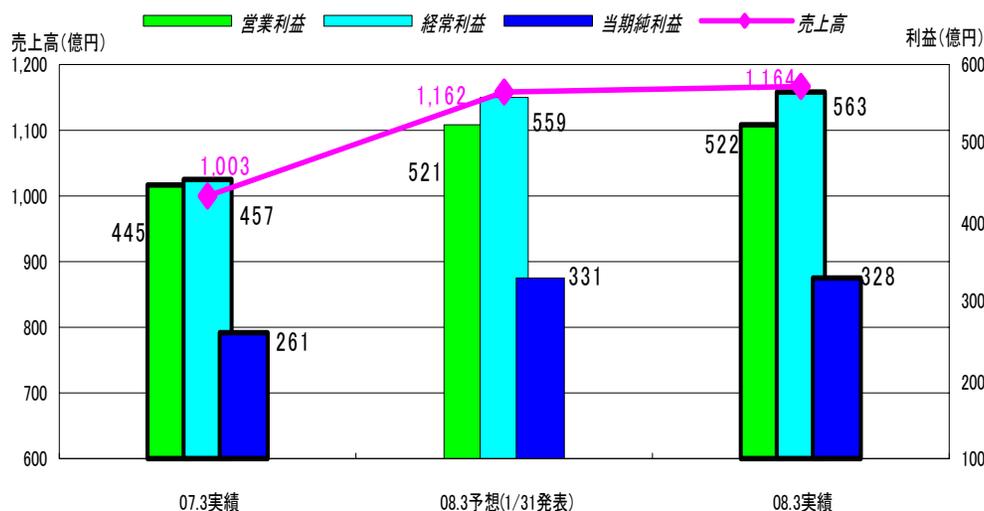
◆09. 3期 決算見通し	
1. 概要	20
2. ニッケル事業通期見通し	21
3. 連結経常損益の分析〔08. 3実績対09. 3予想(新)〕	22



I 08.3期決算実績

1.概要

～経常利益率は48.4%高水準を維持し、過去最高益を更新～



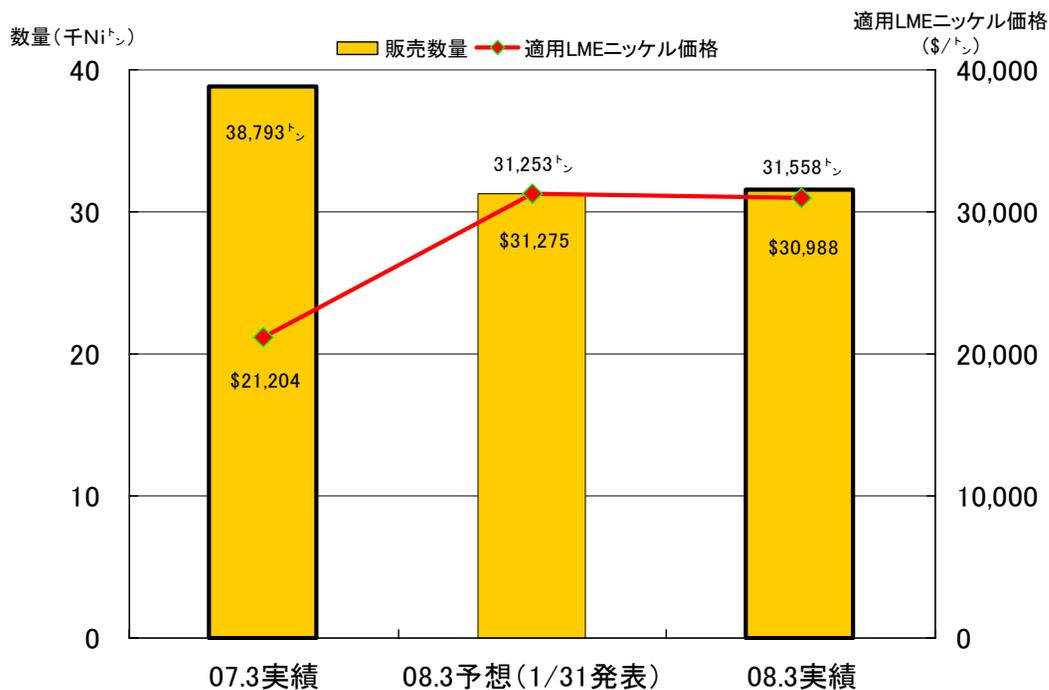
- ◇ ニッケル事業
ステンレス業界はステンレス価格の先安感から在庫増加を招き、減産体制に入った。それにより、当社の販売数量は減少したものの、フェロニッケルの販売価格の大幅な上昇で、営業利益は前期比17.9%の増加。
- ◇ その他の事業
電力卸売り事業等が順調であったものの廃棄物リサイクル事業は、受注数量不振により減益となった。

金額単位: 百万円	07.3実績		08.3予想(1/31発表)		08.3実績			対前期比 (%)	対1/31発表 予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	100,283	—	116,201	—	116,420	—	100.0	16.1	0.2
ニッケル事業	98,175	—	—	—	113,648	—	97.6	15.8	—
その他の事業	2,314	—	—	—	2,932	—	2.5	26.7	—
連結に伴う調整	△206	—	—	—	△160	—	△0.1	—	—
営業利益	44,455	44.3	52,066	44.8	52,251	44.9	100.0	17.5	0.4
ニッケル事業	44,510	45.3	—	—	52,468	46.2	100.4	17.9	—
その他の事業	△83	△3.6	—	—	△239	△8.2	△0.4	△188.8	—
連結に伴う調整	28	—	—	—	22	—	0.0	—	—
経常利益	45,716	45.6	55,917	48.1	56,315	48.4	48.4	23.2	0.7
当期純利益	26,086	26.0	33,110	28.5	32,804	28.2	28.2	25.8	△0.9
(設備投資額)	9,979	—	18,342	—	12,046	—	—	—	—
(減価償却費)	2,081	—	3,496	—	2,676	—	—	—	—

◆08.3期 決算実績

2.ニッケル事業

～LMEニッケル価格の値上がりが販売数量減の影響を吸収～



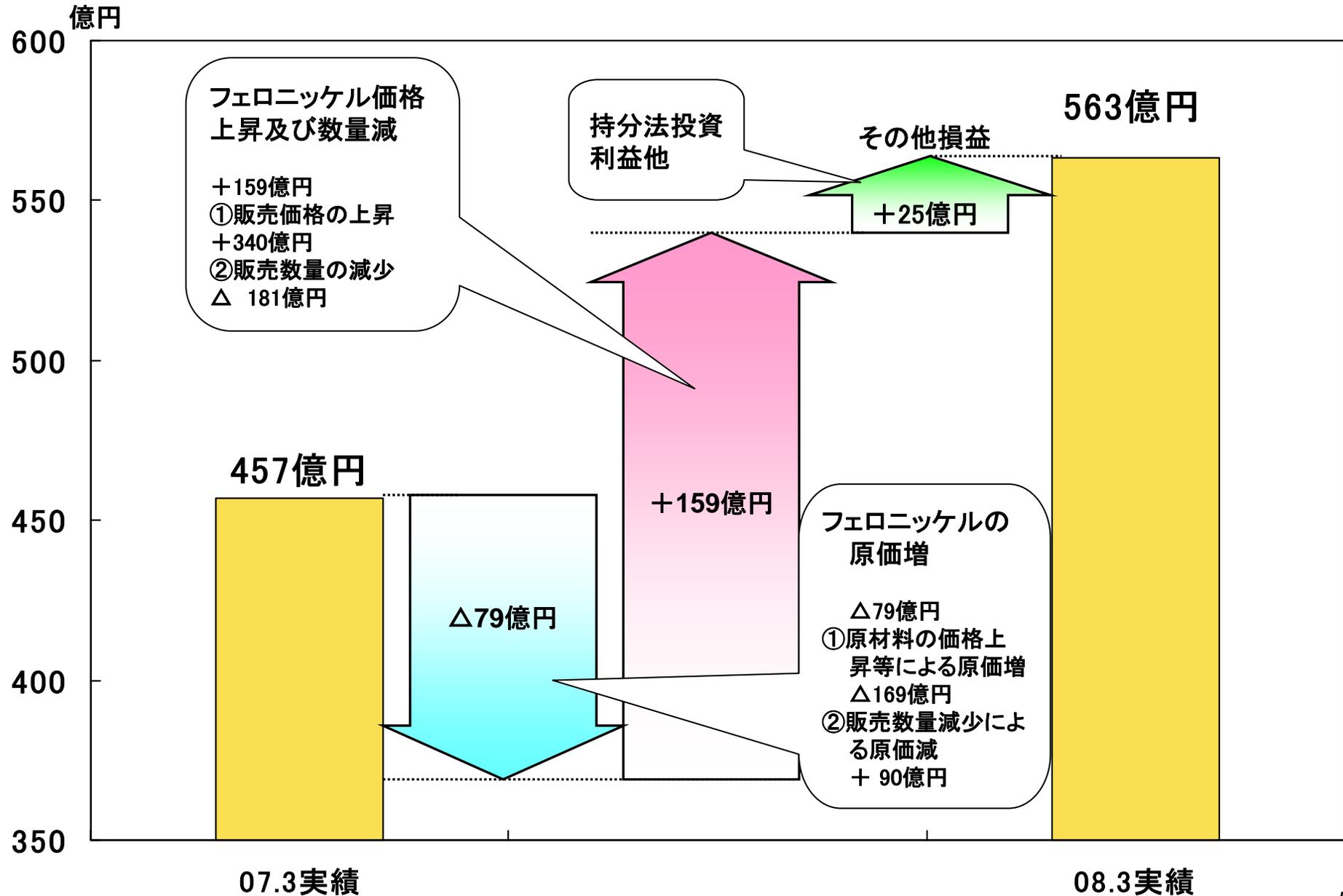
TOPICS

- ① 販売数量
フェロニッケル販売数量は、国内向けが若干の減少に止まり、輸出向けが大幅減少、全体では31,558トンで前期比18.7%減少。
- ② 適用LMEニッケル価格
上期の国際金属価格の高騰の中で、適用LMEニッケル価格は30,988\$/トンで前期比46.1%上昇し、それに伴い販売価格もアップ。
- ③ 適用為替
114.91円/\$で前期比1.29円/\$円高。

	07.3実績	08.3予想 (1/31発表)	08.3実績	対前期比(%)	対1/31発表 予想比(%)
販売数量(Niトン)	38,793	31,253	31,558	△18.7	1.0
適用LME(\$/トン)	21,204	31,275	30,988	46.1	△0.9
【適用LME(\$/lb)】	【9.62】	【14.19】	【14.06】	—	—
適用為替(円/\$)	116.20	115.39	114.91	—	—

◆08.3期 決算実績

3.連結経常損益の分析〔07.3実績 対 08.3実績〕

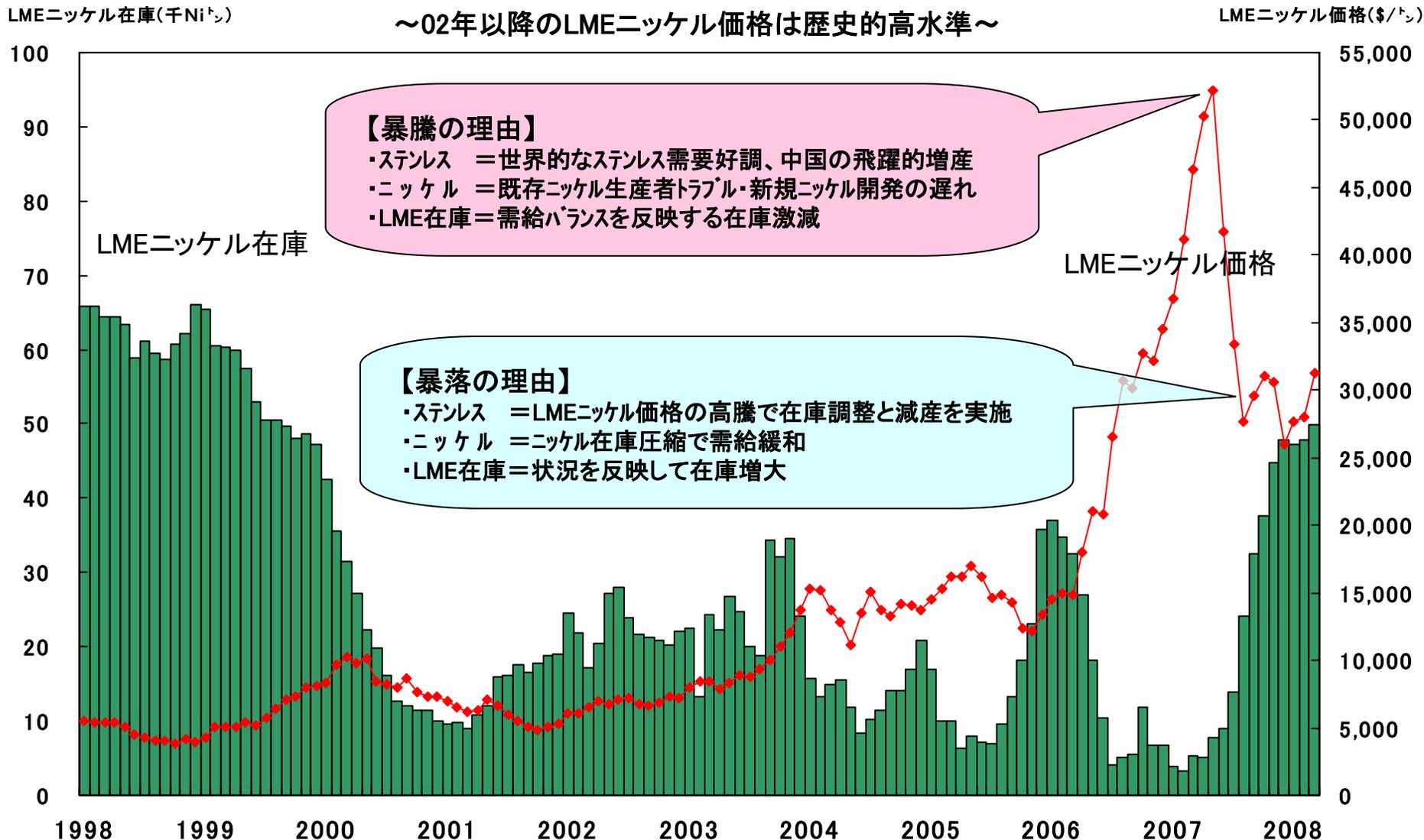




Ⅱ. 今後のニッケル需給の見通しについて

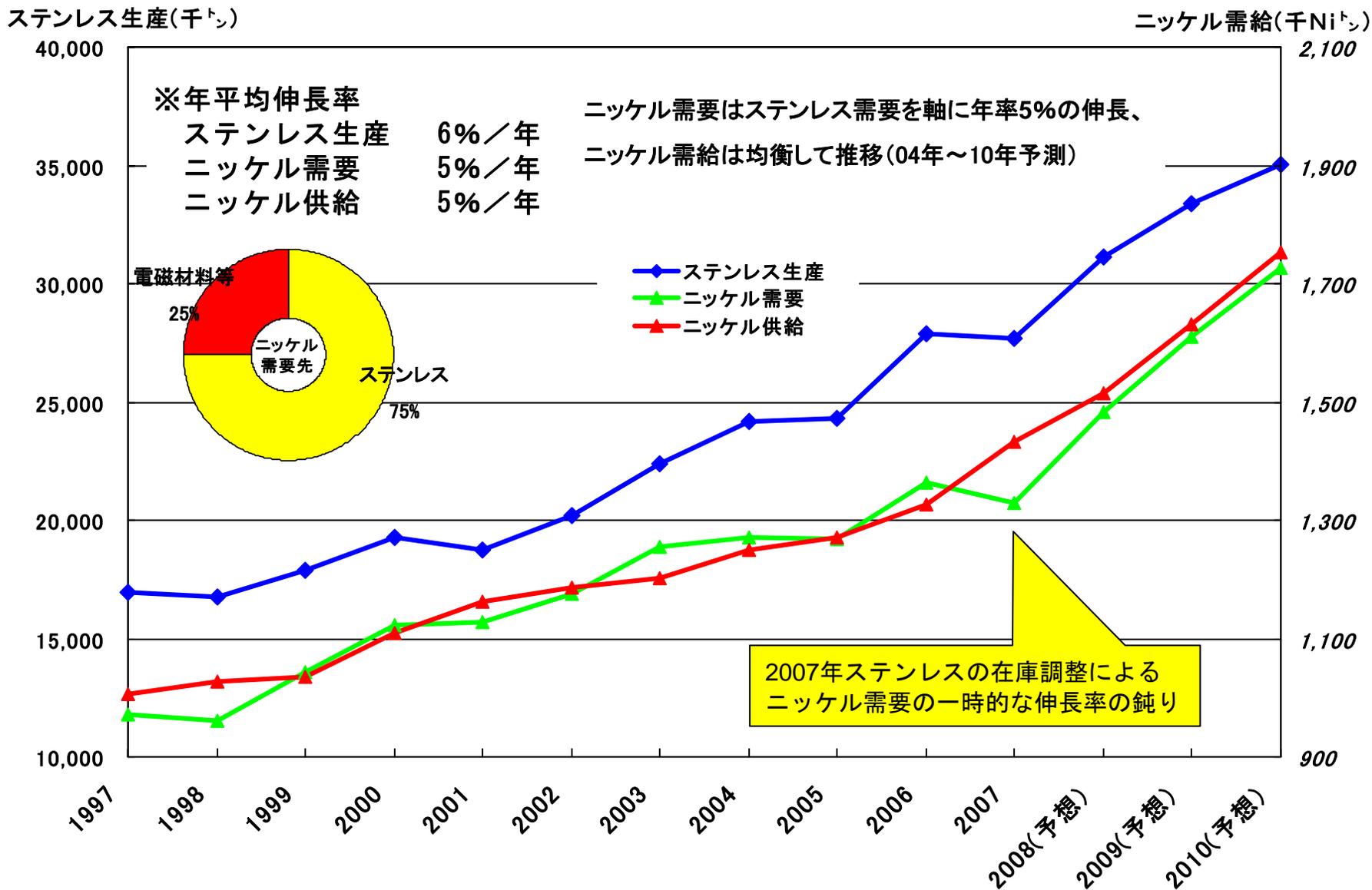
◆今後のニッケル需給の見通しについて

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(1998年～2008年)



◆今後のニッケル需給の見通しについて

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給



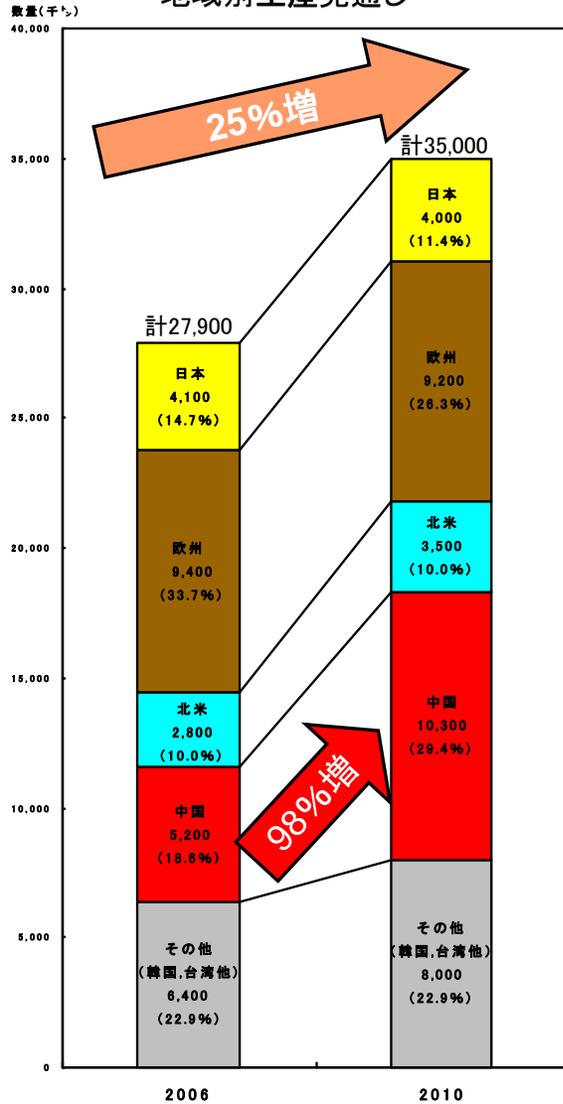
◆今後のニッケル需給の見通しについて

3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

～ステンレス生産もニッケル需要も中国が世界のトップへ～

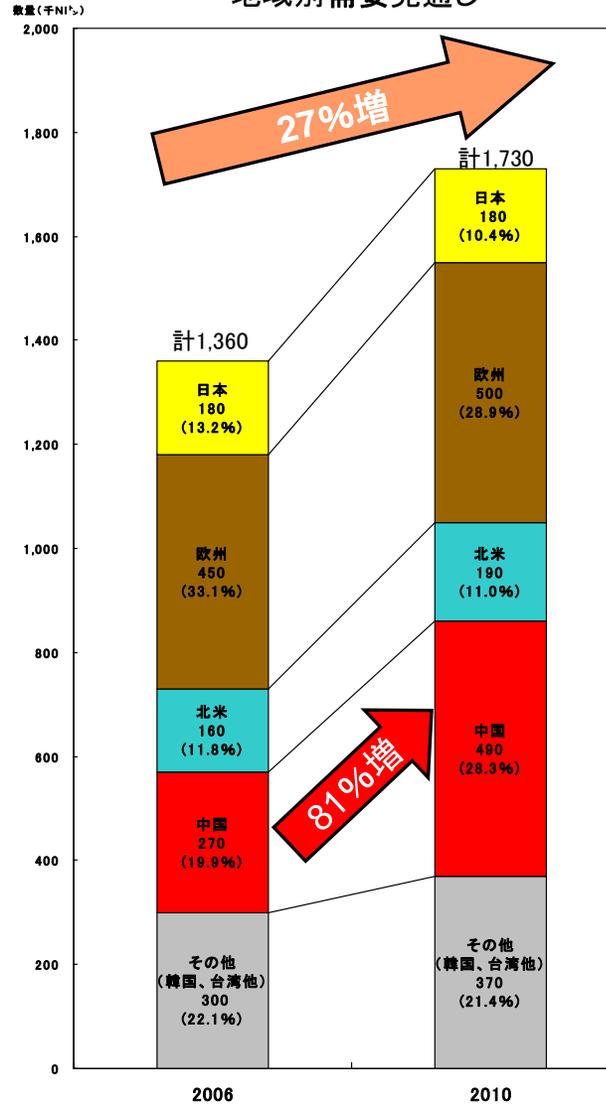
ステンレス

地域別生産見通し

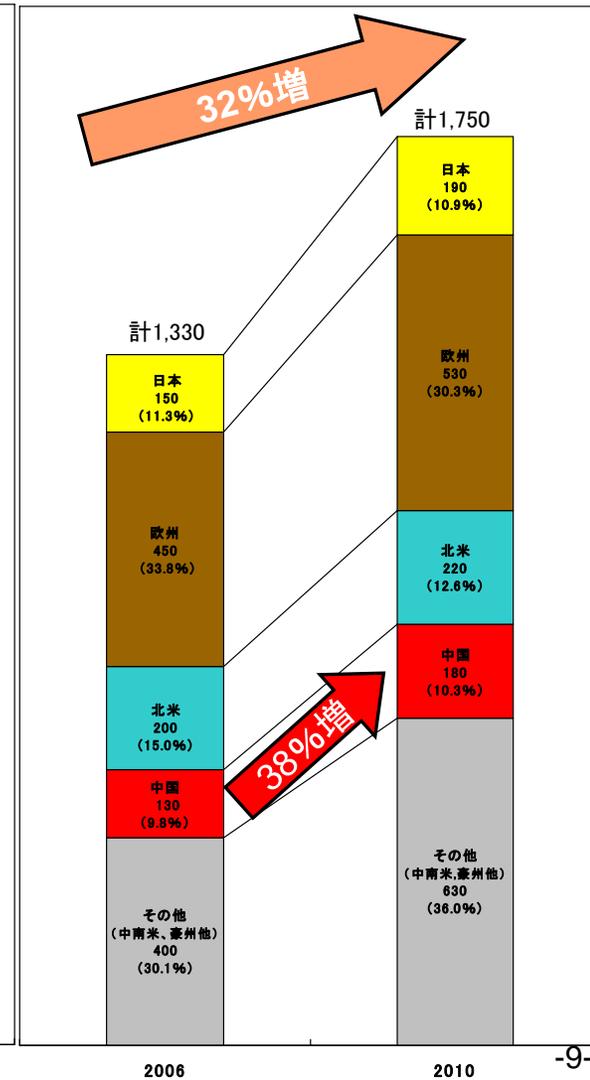


ニッケル

地域別需要見通し



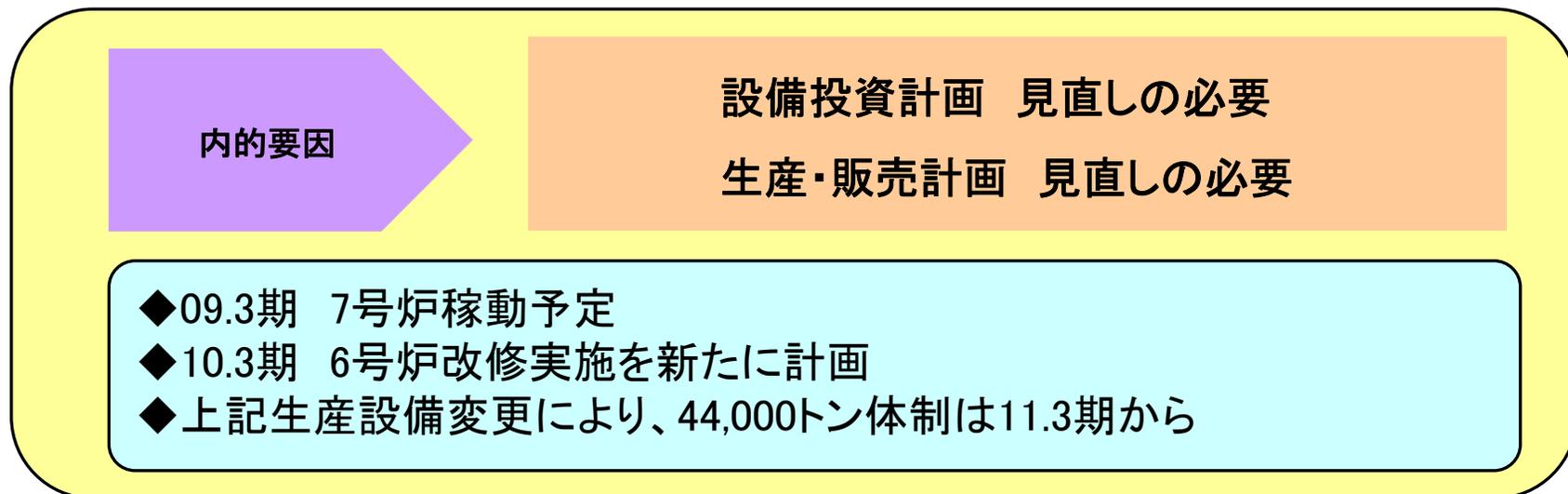
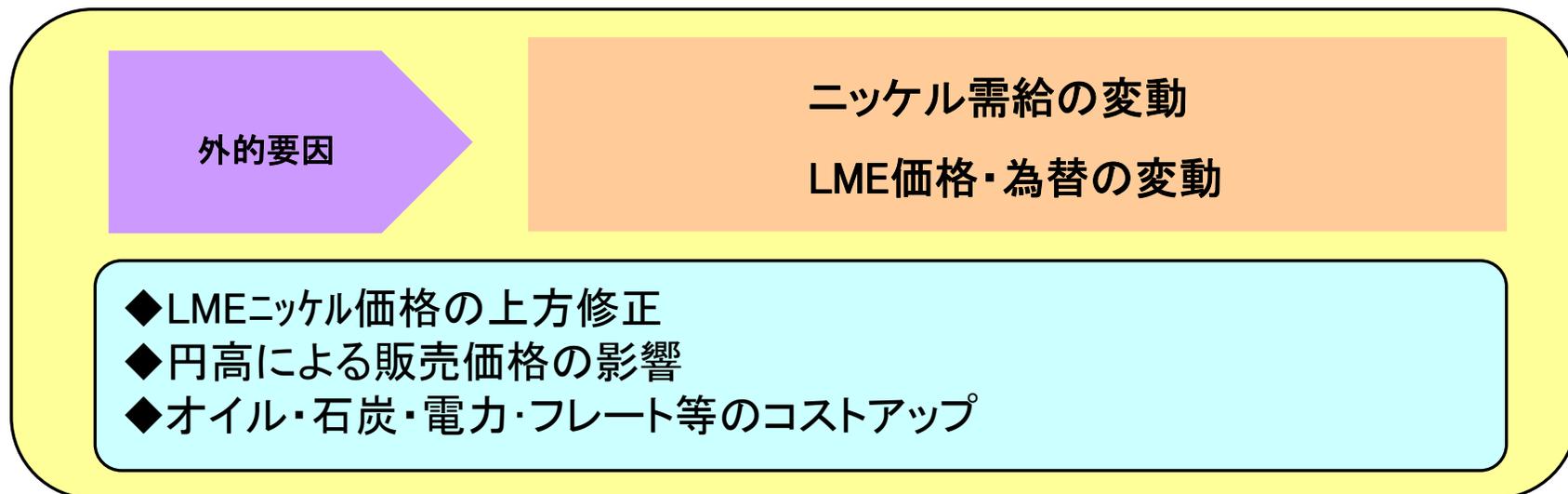
地域別供給見通し





Ⅲ 中期経営計画

◆中期経営計画ローリングの背景



事業環境の変化に対応し、高収益水準の維持を目指す

◆長期成長のシナリオ

マクロ
環境

中国はじめBRICs経済の拡大
ステンレス・ニッケル需要の伸長

資源価格高騰の中で
高水準で推移するLMEニッケル価格

当社の
強み

鉱山との強力なコネクション
安定した鉱石調達

製錬技術と
低コスト生産体制

伸長するアジアの好立地
有利な販売体制

参入障壁の高い業界／競合他社よりも有利なポジション

目指す姿

東アジアにおけるフェロニッケルNo.1企業堅持

成長戦略

設備投資による
生産基盤整備増強

新規鉱山開発の推進

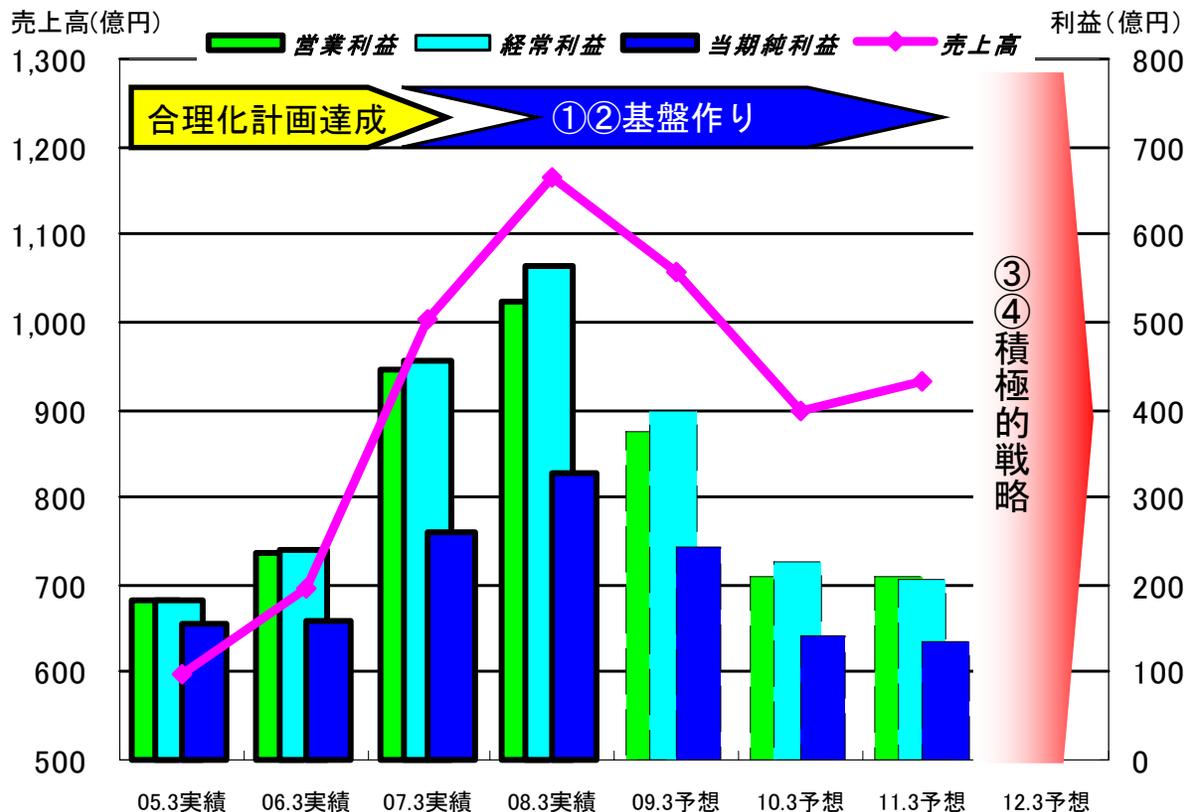
湿式製錬等
研究開発の促進

将来の成長基盤を整える

◆ 中期経営計画

1. 概要

～生産体制強化と増販により成長基盤を固め、積極的戦略に備える～



TOPICS

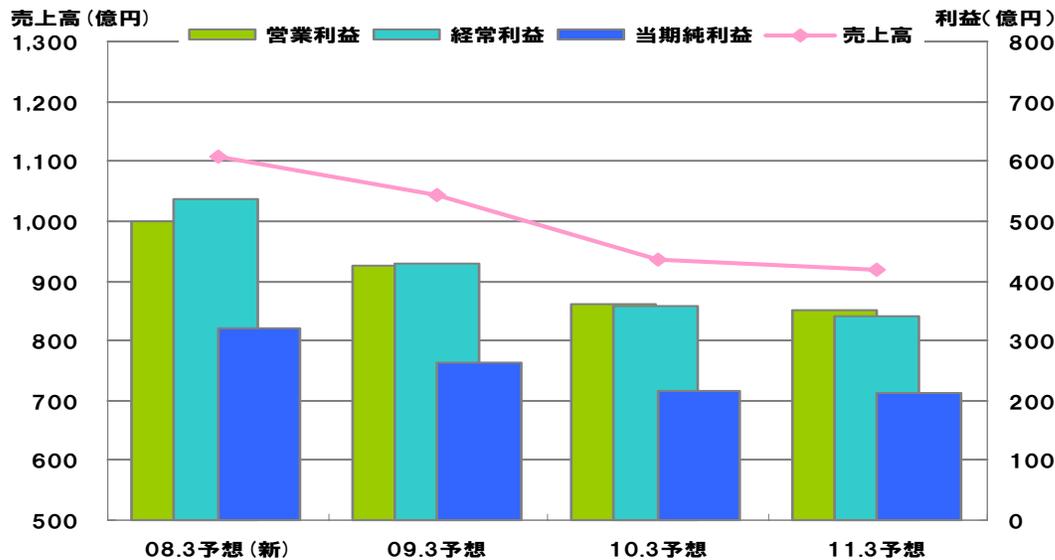
- ① 基盤作りのため、07.3期、08.3期の大規模設備投資とステンレス減産により生産、販売量は一時的に減少。
- ② 09.3期以降適用LMEニッケル価格予想は、現状の市況実勢レベルを勘案し、28,019\$/トン(12.71\$/lb)～20,179\$/トン(9.15\$/lb)へ修正。(見直し前 09.3期以降は20,393\$/トン(9.25\$/lb)～17,637\$/トン(8.00\$/lb))
- ③ 東アジアでの好立地をバックに中国などを視野に入れた販売戦略をベースに増販を図る。
- ④ 09.3期生産、販売基盤整備増強で、東アジアトップのフェロニッケルメーカーとしての地位を保持。

金額単位:百万円	07.3実績	利益率(%)	08.3実績	利益率(%)	09.3予想	利益率(%)	10.3予想	利益率(%)	11.3予想	利益率(%)
売上高	100,283	—	116,420	—	105,545	—	89,708	—	93,160	—
営業利益	44,455	44.3	52,251	44.9	37,577	35.6	20,960	23.4	20,996	22.5
経常利益	45,716	45.6	56,315	48.4	39,669	37.6	22,628	25.2	20,461	22.0
当期純利益	26,086	26.0	32,804	28.2	24,323	23.0	14,019	15.6	13,619	14.6
(設備投資額)	9,979	—	12,046	—	18,899	—	14,108	—	1,569	—
(減価償却費)	2,081	—	2,676	—	4,101	—	5,623	—	8,005	—

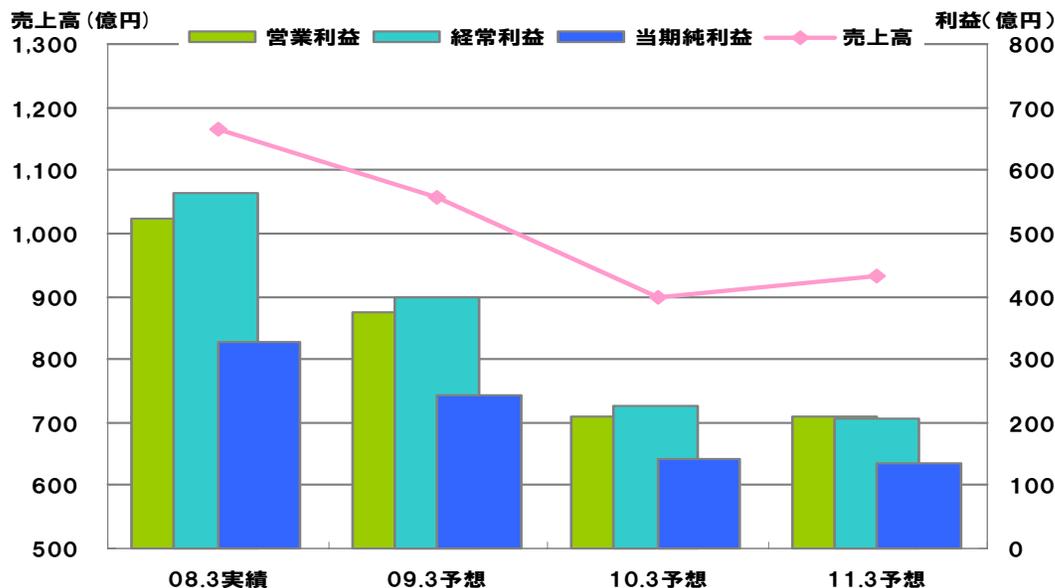
◆ 中期経営計画

2. PAMCO22との比較

【PAMCO22】



見直し【PAMCO22】



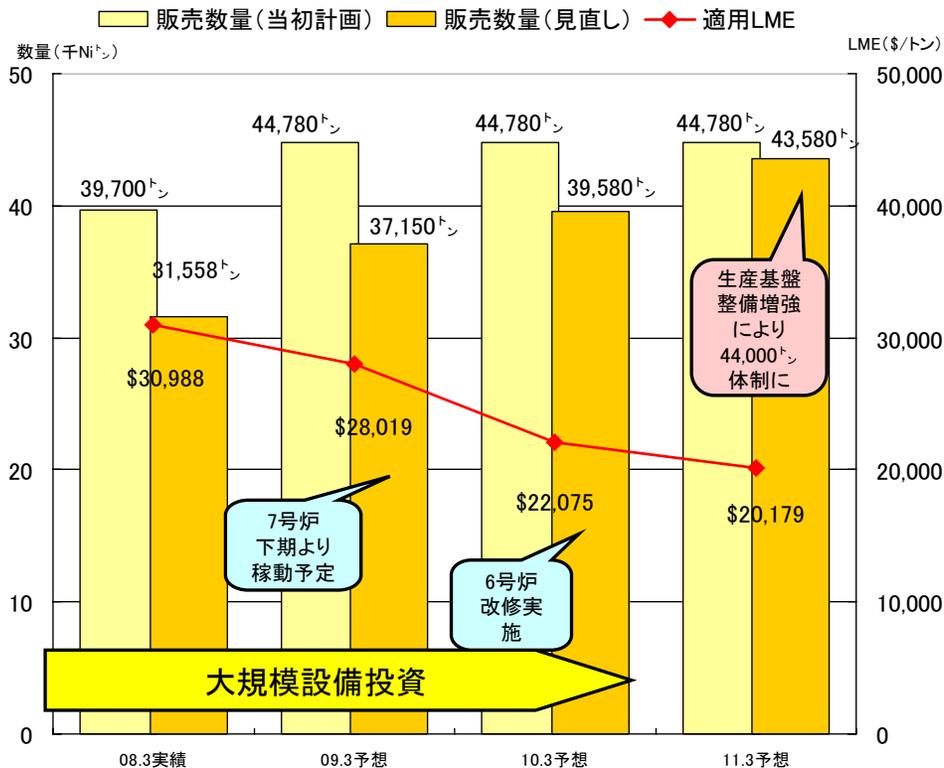
会社の一層の安定化のための諸施策

- ① 販売数量の増量・安定化
- ② 生産設備の増強・合理化投資
- ③ ニッケル鉱石安定調達のため
現地資本との鉱山開発
- ④ ニッケル資源長期安定調達のため
湿式製錬技術開発早期確立
- ⑤ 環境事業の早期確立
- ⑥ 環境対策設備等一層の充実

◆ 中期経営計画

3. ニッケル事業

～LMEニッケル価格の高値推移の中で生産体制強化と増販を目指す～



TOPICS

- ① 販売数量
10.3期主要な生産設備更新を終了し、生産能力は約10%アップ。中国などを中心とした販売数量拡大を目指す。
- ② 適用LMEニッケル価格
LMEニッケル価格は高値圏推移の方向を見込む。
- ③ 適用為替
09.3期は100.17¥/\$円高に推移すると予想。

	08.3実績	09.3予想	10.3予想	11.3予想
販売数量(Niトン)	31,558	37,150	39,580	43,580
生産数量(トン)	30,137	39,870	40,075	44,272
適用LME(\$/トン)	30,988	28,019	22,075	20,179
【適用LME(\$/lb)】	【14.06】	【12.71】	【10.01】	【9.15】
適用為替(¥/\$)	114.91	100.17	99.74	99.68

◆中期経営計画

4.主な資金使途

～主に配当と設備投資に配分～

TOPICS

- ①連結配当性向約30%
- ②4か年中の設備投資額は58,937百万円

株主還元方針（08.3期～11.3期）

- 連結配当性向約30%
 - 09.3期配当予想 37円（中間期末18円、期末19円：連結配当性向29.72%）
ご参考)08.3期配当実績 50円（中間期末24円、期末26円：連結配当性向29.78%）
 - 自己株式の取得も状況に応じて検討

(単位:百万円)

4か年の資金使途

配当金 27,315

設備投資 63,124
(工事ベース58,937)
(鉱山開発を含む)

有利子負債返済 4,223

内部留保金は

- 資源確保
 - 設備投資
 - 新技術の開発
 - 自己株式の取得
- 等に有効活用の予定

変化の激しい経営環境に対応

◆ 中期経営計画

5.投資内容

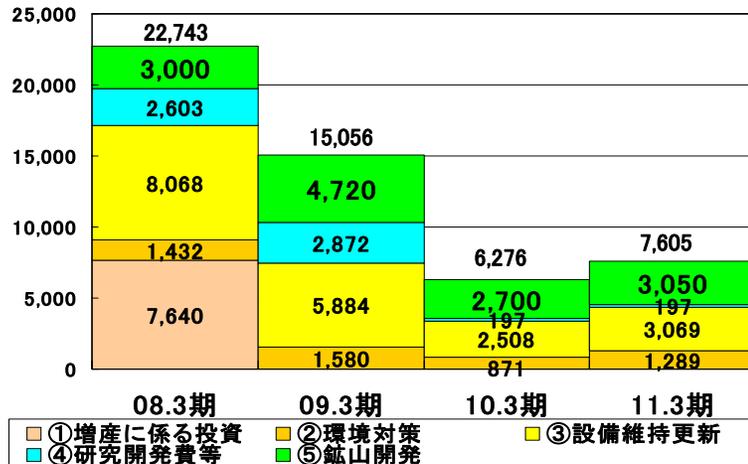
～4カ年総額約589億円(工事ベース)の投資を見込む～

【PAMCO22】

B. 4カ年 各期別投資額

(単位:百万円)

4カ年総額約 516億円(工事ベース)



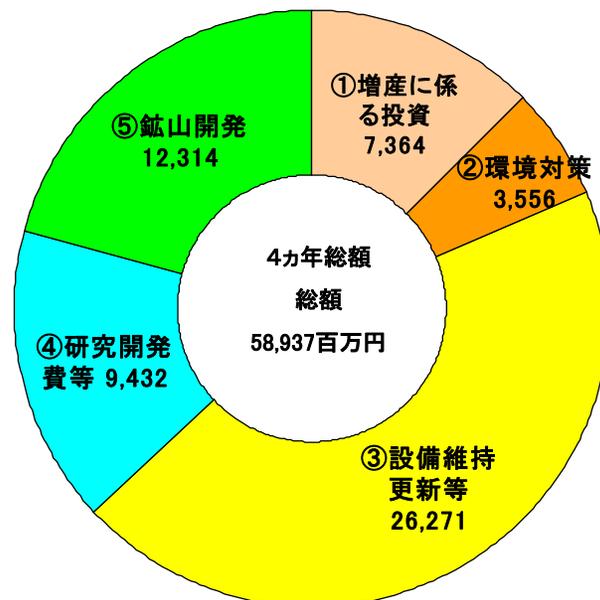
八戸製造所への設備投資

- ①生産設備1系列増産にかかる投資 【76億円】⇒【74億円】
- ②環境対策投資 【52億円】⇒【35億円】
- ③生産体制を維持するための設備更新投資 【195億円】⇒【263億円】
 - ・うち、安全対策工事 (6億円)
 - ・うち、6号炉改修工事 (91億円)

鉱山開発投資(湿式製錬関連を含む)

- ④Ni資源の有効利用に関して、湿式製錬の研究に伴うパイロットプラント(八戸製造所)を立ち上げ等 【58億円】⇒【94億円】
- ⑤Ni鉱石の安定的購入に向けた鉱山開発投資(フィリピン等) 【135億円】⇒【123億円】

A. 4カ年投資内訳(単位:百万円)

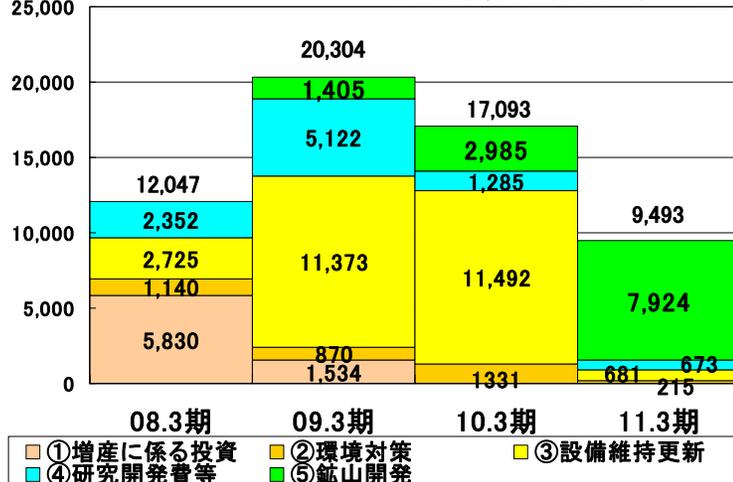


見直し【PAMCO22】

B. 4カ年 各期別投資額

(単位:百万円)

4カ年総額約 589億円(工事ベース)



◆中期経営計画

6.安定した鉱石調達への取り組み

<ニッケル鉱石安定調達策>

ニッケル鉱山開発123億円

①長期購入契約締結

②鉱山開発及び操業に関する技術協力

③鉱山会社への出資

酸化ニッケル鉱山



①長期購入契約締結（期間は5年から10年）

<フィリピン>

リオ・チバ・ニッケル社 08年 1月～12年12月（5年間）

タガニート社 01年 1月～10年12月（10年間）

<インドネシア>

アンタム社 07年 6月～14年 5月（7年間）

<ニューカレドニア>

モンタニア社 06年 4月～16年 3月（10年間）

②鉱山開発及び操業に関する技術協力

<フィリピン>

リオ・チバ・ニッケル社とは、既に探鉱・開発対象となる新たな鉱区を決定済み。

リオ・チバ・ニッケル社およびタガニート社等と共同で進行中。

<インドネシア>

アンタム社が鉱山開発を行い、開発後の安定した鉱山操業のための技術協力を実施。

③鉱山会社への出資

<フィリピン>

リオ・チバ・ニッケル社 36%

タガニート社 33.5%

<インドネシア>

アンタム社 若干の出資

（インドネシア政府65%、その他一般35%）

<湿式製錬への取り組み>

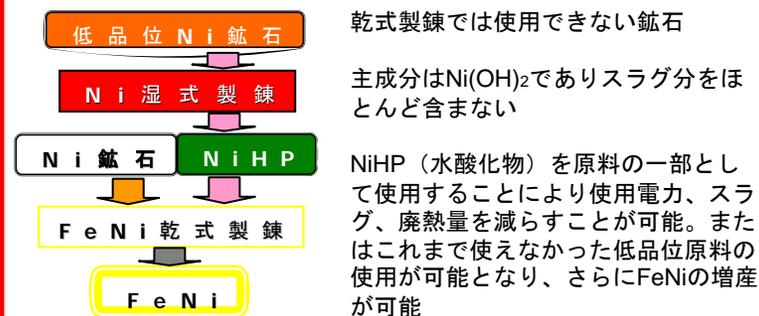
八戸製造所にパイロットプラント建設等88億円

低品位鉱石の活用プロジェクトの推進

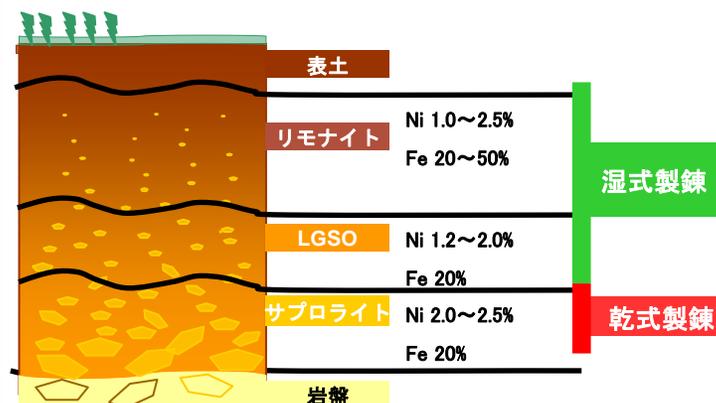
湿式製錬は化学処理によるニッケルの濃縮・抽出方法。

- 現地山元で湿式製錬し、品位を上げた中間産品を八戸で乾式製錬することにより低品位鉱石を活用する。

位置付け



酸化ニッケル鉱石と製錬法



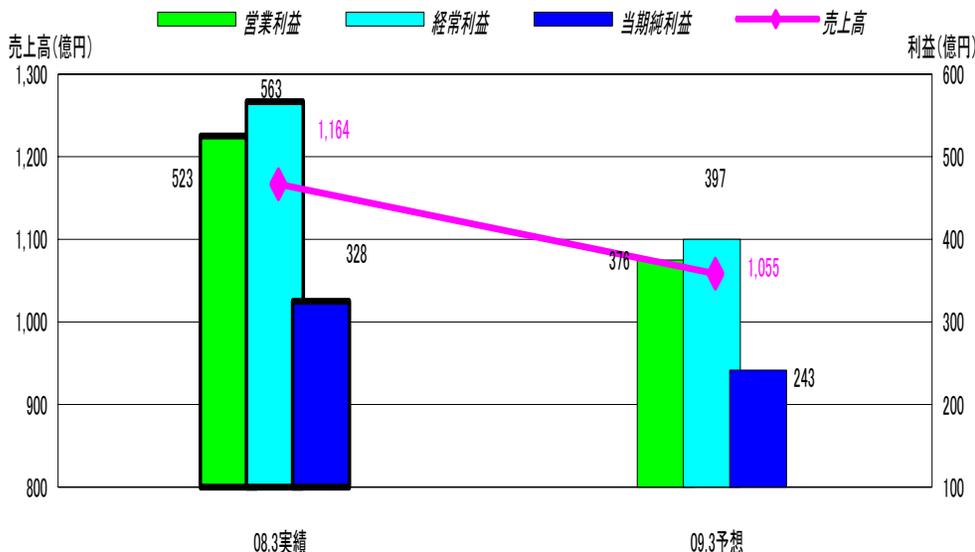


IV 09.3期決算見通し

◆09.3期 決算見通し

1.概要

～営業利益率35.6%・経常利益率37.6%と高水準の確保を目指す～



◇ニッケル事業

ステンレス需要は緩やかに回復を見込む中、当社の販売数量は増加するものの、LMEニッケル価格低下、為替の円高により、減収減益ではあるが、依然、高収益を確保。

◇その他の事業

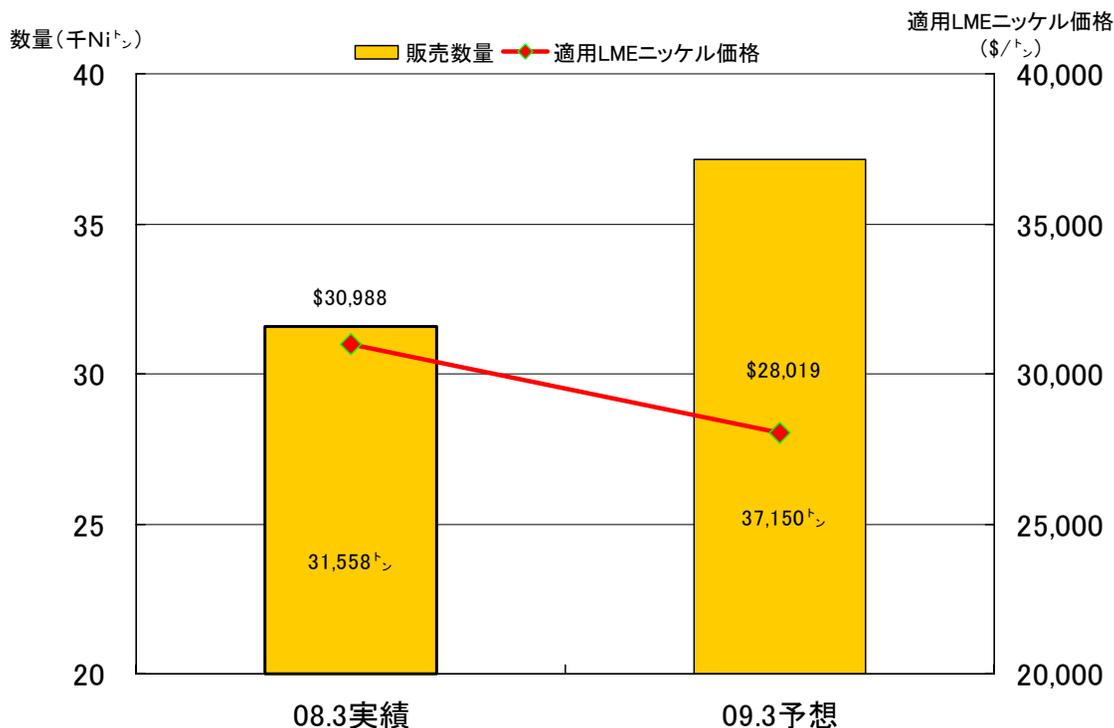
電力卸売事業等は順調に推移、廃棄物リサイクル事業は安定操業の確立を目指す。

金額単位:百万円	08.3実績		09.3予想			対前期比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	構成比率	
売上高	116,420	—	105,545	—	100.0	△9.3
ニッケル事業	113,648	—	102,578	—	97.2	△9.7
その他の事業	2,932	—	3,133	—	3.0	6.9
連結に伴う調整	△160	—	△166	—	△0.2	—
営業利益	52,251	44.9	37,577	35.6	100.0	△28.1
ニッケル事業	52,468	45.1	37,703	36.8	100.3	28.1
その他の事業	△239	△0.2	△106	△3.4	△0.3	55.5
連結に伴う調整	22	—	△20	—	0.0	—
経常利益	56,315	48.4	39,669	37.6	—	△29.6
当期純利益	32,804	28.2	24,323	23.1	—	△25.9
(設備投資額)	12,046	—	18,899	—	—	—
(減価償却費)	2,676	—	4,101	—	—	—

◆09.3期 決算見通し

2.ニッケル事業通期見通し

～ステンレス需要の回復及び拡販による販売数量の増加を見込む～



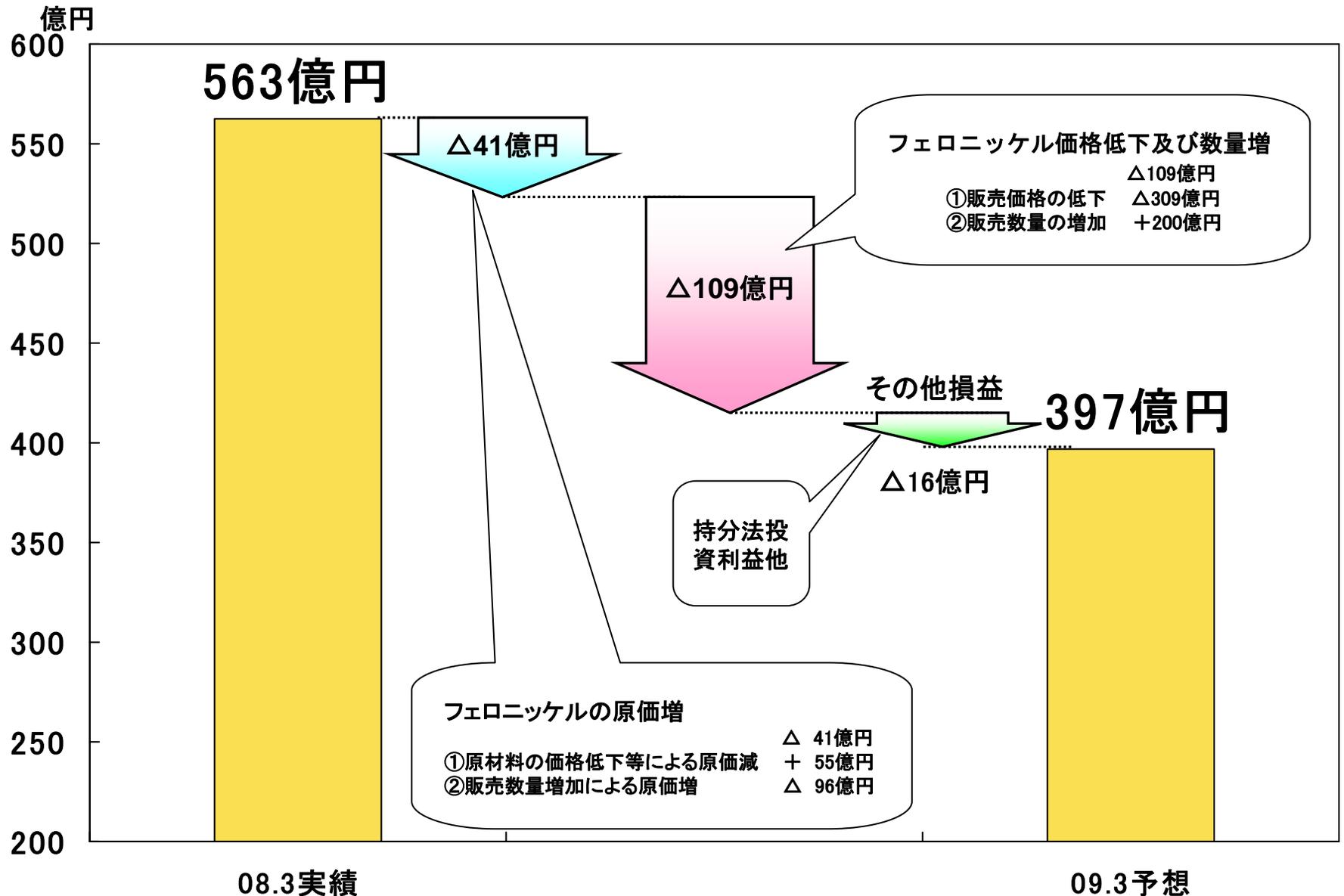
TOPICS

- ①販売数量
ステンレス需要の回復及び拡販により37,150トンで前期比17.7%の増加を見込む。
- ②適用LMEニッケル価格
適用LMEニッケル価格は、28,019\$/トン(12.71\$/lb)で前期比9.6%下方ではあるが、依然高水準見込み。
- ③適用為替
100.17¥/\$で前期比14.74¥/\$と大幅な円高を予想。

	08.3実績			09.3予想			対前期比 (%)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
販売数量(Niトン)	15,174	16,384	31,558	17,250	19,900	37,150	17.7
適用LME(\$/トン)	36,387	27,159	30,988	30,280	26,105	28,019	△9.6
【適用LME(\$/lb)】	【16.51】	【12.32】	【14.06】	【13.74】	【11.84】	【12.71】	—
適用為替(¥/\$)	120.00	110.68	114.91	100.67	99.74	100.17	—

◆09.3期 決算見通し

3.連結経常損益の分析〔08.3実績対09.3予想〕



本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。